



リステラス星圏史略
古資料ファイル 4
『皇女戦記』（梗概）

（発掘整理作業中）

霧樹里守 is 土岐真扉

《大地世界》物語

『皇女戦記編』

日暮れて未知とおし... (ー；) ...★

[日暮れて未知とおし... \(ー；\) ...★](#)

2016年5月19日 [リステラス星圏史略 \(創作\)](#)

次はコレに手をつけるわけですが...

<http://p.booklog.jp/book/102985/read>

リステラス星圏史略

古資料ファイル 2 - 6

皇女戦記編

...w (^□^；) w...

しかしその前にコレで。

★ (ー；) ★

<http://85358.diarynote.jp/201605062015573333/>

『大地世界物語：皇女戦記編』 ...設定、...【総変更！】 確定...☆

2016年5月6日

「マリシアルは死んでない！」という基本設定の変更が確定したとたん、

私の中ではどん暗いシリアス大長編？「ハイファンタジー」だったはずの、

『大地世界物語・皇女戦記編』が...

...w (～～；) w...

なんかいっきにスラップスティックなF T「皇位争奪戦」コメディーになりそうなんですけど...

？

...? < (～～；) > ? ...☆

...う”～ん (ー；)

「なぜ仲が冷えているのか」が長年のナゾだったマーライシャと叔母上の間柄が、ようするに、

「兄嫁と小姑のカクシツ」⇒「死んだ兄嫁にクリソツな性格の姪をつい粗略に」

☆（ー；）★

という、身分や皇位争いの話じゃなくて「嫁姑？」問題だと判明しちゃったし...★

（しかも要するに、マーシャの性格、実の両親より叔母さんに似てるんじゃない...www）

ううむ...★

地図も、全面、細部から詰め直して描き直さないと！

w（^◆^；）w

...だし。ねえ...??

とりあえず1つ「分冊」。（^^；）

<http://p.booklog.jp/book/107093/read>

リステラス星圏史略

古資料ファイル2-6-0

《灰色姫》と戦士《黒百合》

これは本来「有史以前」のエピソード...で...

「私」が「魔樹」になった話。のはず...??

なので、徹底的に設定ツメ直さない...??

w（ー；）w

<http://p.booklog.jp/book/107094/read>

リステラス星圏史略

古資料ファイル2-5-0

皇子と《森の木洩れ日》

もういっこ分けてみたけど、

...入れるべき中身が...

...w (^□^ ;) w...

いまだ「私の頭の中」にしか、実在していない??

...という、びっくりな事実?が判明...????

(とりあえず本日、今生が...もとい、根性が、尽きました...★

(草稿 & 没原稿)

(草稿 & 没原稿)

(設定資料)

(設定資料)

大地世界シリーズ総構成 （高校時代の）

[『（無題）』（高校時代の授業用ルーズリーフ使用）](#)

2006年7月2日 [連載（2周目・大地世界物語）](#)

大地世界シリーズ総構成

記憶の旅 上・下 （大地世界シリーズ 1・2巻）

敵地放浪編

『ダレムアス・シリーズ（大地世界物語）梗概 1』 （@1991年以降、社会人～ウツでヒキコモリ期）

[『ダレムアス・シリーズ（大地世界物語）梗概 1』](#) （@1991年以降、社会人～ウツでヒキコモリ期）

2006年7月17日 [連載（2周目・大地世界物語）](#)

[前生編]

かつてありし四界のうち妹なる大地世界と呼ばれるダレムアス。創始の女神マライアヌの直系である皇家によって平穏に続べられている。が、界境の封印がほころび、兄なる虚洞世界ボルドガスムが襲来するという予言によって平和な日々は崩れ去った。万の単位で数える年月をダレムアトは戦のなんたるかも知らずに暮らしてきたのである。数年の猶予はあると告げる星見の言葉を頼りに、いまは国内をととのえ、迎え撃つべき軍団の編成を急ぐしかなかった。

美しき白の都の皇女マーライシャ。わずか七歳にして彼女は見ず知らずの婚約者を持つ身となった。ながい時のなかで分裂した西の皇家との統合をはかる為とはいえ、本人の選択によらない婚儀は、魂の純潔をおもんじるダレムアトにとっては異例のことである。

大局のためにと、幼いながらも理解して進んで合意したものの...やがて恋をせる齢となり、迷いは苦悩とかわる。禁じられた想いの相手は兄皇子マリシアル。そして彼もまた、血をわけた半身を妹とは思えずにいた。

史録にのこるボルドガスムとの界境通廊は七箇所。しかし今にのこる封印跡を見いだしたのには六箇所のみだった。及ぶかぎり万全の布陣を用意しながら在りかの判らぬ七箇所めを求めてあせる統皇たち。時日をはやめ、ひそかな出立を余儀なくされた皇女の降嫁。おもいをのこすマーライシャ姫がふりむいた先に、炎上する白の都があった。七箇所めは神の門として知られる皇城の聖域だったのだ。

護衛の制止をふりきり兄の安否を求めて火炎のさなかにとってかえす皇女。愛する妹を守るために皇子は前線を切り抜けるが、深傷を負い、再会を約して部下に皇女を託す。

この日、大地世界の統皇と女皇は崩御。皇女もまた昏き河におち、その命を断った。

[転生編]（プロローグ）

黄泉...冥界の扉

落命した皇女マーライシャは恋の為に道を誤ったことを深く恥じ、黄泉の扉を守る者に大地世界への帰還を願い出る。転生を司る者はそれは許されぬことと告げる。が、かつて皇女の護衛をつとめた長生族・黒百合が、死を許されざる者としての禁を破り、介入する。

かくて皇女は転生の掟を超えて回帰することとなった。ただし四界のうち弟なる球の地と呼ばれる世界に。

嵐・一

有澄夫妻は時ならぬ嵐で山荘に閉じ込められた。流産で子をもつ望みを断たれて以来、神経を病みかけていた冴子夫人は、嵐のなか子供の泣き声が聞こえると飛び出していく。濁流のふちに倒れていたのは傷だらけの少女だった。

マ・リシャと名乗った六歳ほどの少女は日本語がわからず、教育していくうちに記憶を失っているのだと知れた。なにより、鮮やかな緑色の髪 of 地球人などいる筈がない。

が、冴子には娘が必要だった。染料を受けつけない髪のためにカツラを調べ、真里砂と名付ける。少女は慈しまれて育つことになった。

嵐・二 (六年後)

高すぎる知能指数のゆえに〈センター〉と呼ばれる国家機関に拉致され、軍のための洗脳から逃げ出してきた清峰 鋭、十一歳。追跡の手から護るように突如おこった嵐が深い森のなか少年に道を失わせる。その風に導かれ、荒れる雨水をおさめるように現れた緑の髪の少女、有澄真里砂。邂逅の一瞬、二人は不可思議な存在を聴く。[...球の地の哀しみと、大地の惑いよ。あなたがたはおなじひとつの魂。互いの旅をたすけあいなさい...]と。

緑の髪の少女は[風の空隙]と呼ばれる結界の道を抜け、少年を導いた。

第一部・記憶の旅

体育祭

やがて十三になる真里砂は六歳以前の記憶を持たない。拾われたので出自も知らない。何不自由なく幸福に育ったが、それでも不思議な予感があった。この世界は自分の本当の場所ではないという。故に、ゆうべ不意に訪れた黒い女戦士にも違和感を抱かなかった。

「時間がない」と放浪戦士は告げた。もう少しあなたを護りたかったが、追われる立場の自分には、これ以上、掟を曲げてこの世界に関わる力がなくなった...と。

『ダレムアス・シリーズ（大地世界物語）梗概 2』 （@1991年以降、社会人～ウツでヒキコモリ期）

[『ダレムアス・シリーズ（大地世界物語）梗概 2』](#) （@1991年以降、社会人～ウツでヒキコモリ期）

2006年7月18日 [連載（2周目・大地世界物語）](#)

[総括]

地球と呼ばれる惑星と重なりあう、もしくは隣接して存在したとされる空間、エルシャムリア・ボルドガスドム・ダレムアスの三界は、地球（ティカーセラス）とあわせて[かつてありし四世界]と呼び慣されている。各世界を統べる四柱の神は兄弟姉妹であると人間には解釈されていた。

神代末期の争いにより長姉リーシェンソルの開いたエルシャムリアは滅び、残る三界を結ぶ通廊は封印された。長い（地球時間で約2万年）時の流れのなかで互いの存在自体が忘れられた頃、主神グアヒーギルに飽きられたボルドガスドムの崩壊が始まった。が、造物主に見捨てられても、ひとたび存在することを始めた生命は死なないものである。かくてボルドガスムの皇帝ガザルアジャーは禁じられた扉を破り、隣世界ダレムアスへの侵攻を開始する。

[鬼]と呼ぶボルドム人の侵略によって緒戦で統皇そのひとを失った大地世界ダレムアスは泥沼の局地抵抗戦を余儀なくされた。地球世界に難を逃れていた皇女マーライシャが帰還し、分裂しかけていた各勢力を束ねて大規模な反撃にうつる。形勢不利とみたボルドムが地球の「地下勢力」（と考えた）セブンス・コングロマリットと手を結んだことにより、ことは三つ巴の争いとなる。

いつときボルドガスムに拉致されたマーライシャは侵略戦の直接原因がグアヒーギルにあると知り、生還の後、ダレムアスの眠れる女神マライアヌを尋ねあて、万物を造る[神]たるものへの疑問を投げかけた。

女神の娘である同名の神女マーライシャの助力を得て最後の決戦に勝利をおさめた皇女。ボルドムからの移住民をも受け入れ再び境界の通廊を封印するが、同時に彼女は半身である地球人の少年を失わなければならなかった。

[皇女を中心とした動きの概要]

（前生編）

幼くして西皇子クアロスと婚約。兄皇子マリシアルとの淡い恋に惑い、大局を誤って皇都ルア・マルラインとともに落命。

(転生編)

不死戦士アズユライ（黒百合）によって記憶を封じられ、地球世界で「幸福な少女時代」というやつを取り戻す。翼 雄輝・清峰 鋭の二名とともに帰還。はじめ地球へ戻ろうとし、月女神レリナルディを訪ねた。記憶（人格）回復の後、兄皇子の死[>宝玉物語]を知る。[>記憶の旅]

叔母である斎姫を訪ね、斎都戦にあたって指揮をふるうが、男装のため「皇子復活！」の報が各地に飛ぶ。圧政を敷くボルドム地方部隊を撃退しつつ、探索網をかいくぐり、地球人国・南都・北荒野などを巡り、大地世界全土の戦線の再統一を図る。[>（複数）]

西への砂漠の旅の途路、軍司令のボルドム帝子を殺害。その双子の兄に捕らえられ地洞世界に幽閉される。無事脱出するが、鬼族を単純な「悪」と決めつけることはできなくなる。[>暗夜]

帰還した皇女を出迎えたのは許婚者である西皇子クアロスだった。

七つの門のうち四までを封じ込め、大地軍を統率して大規模な会戦を迫る。が、地球人將軍マダロ・シャサ（雄輝）を失った皇女は自失し、敗退した。[>遼恋（りょうれん）]

雄輝、生還。再び戦線のたてなおしを図るが、地球人の介入により大地の力がそがれ、事態は深刻化した。西皇帝クアロス、皇女をかばって死去。女神に意思を問うて始源平野マドリアウィを訪ねる。神女の力を得た決戦の前夜、皇女は地球人としとねを共にした。

外伝[宝玉物語]

放浪中の薬師のおばば（実は黒百合という説も）に拾われ、山奥の「道の果ての村」で育った〈星の娘〉マシカ。皇都戦から落ちのびた飛仙フェルラダルを救ったことから大地世界の危機を知る。[>山百合と銀の楡]

飛仙にもらった宝玉〈女神ルマルウンのかけら〉を胸に、復活した〈鬼〉族の出没に脅えつつ山で暮らすマシカ。冬も近いある日、「道の果ての村」には珍しい下界からの客人が訪れた。偽名をなのり、疲れはてたふうの少年をもてなすうちに二人の間に淡い恋が芽生える。が、マシカは鬼の首領から望まれた身だった。気を揉んだ首領に期限より早く連れ去られるマシカ。譲られた宝玉を懐に、追う少年。鬼の城に忍びこみ、少女を救って落命した少年こそ、大地世界の皇子マリシアルだった。[>宝玉物語]

皇子落命の報を皇女に告げ、

外伝[地球干渉編]

[リッコ冒険記]

朝日ヶ森学園から三人の生徒が姿を消して五十年。新理事長となった 楠 律子の孫、高原リツコ十二歳は、「夏休みを利用してアルバイトをしないか？」ともちかけられ、離婚訴訟中の両親から離れられるとばかりに森の奥の通路へでかける。

[感恋]

大地世界へ侵入した地球人商社軍の強制キャンプに拉致され、男達のなぐさみものにされた少年、セネ。逃亡後、皇女軍の参謀役として働くが、口にすることも出来ない過去と、皇女への報われない片恋が彼を苦しめていた。

続? 『ダレムアス・シリーズ (大地世界物語) 梗概 2』 (@1991年以降、社会人～ウツでヒキコモリ期)

[『ダレムアス・シリーズ \(大地世界物語\) 梗概 2』 \(@1991年以降、社会人～ウツでヒキコモリ期\)](#) 2006年7月18日 [連載 \(2周目・大地世界物語\)](#)

[総括]

地球と呼ばれる惑星と重なりあう、もしくは隣接して存在したとされる空間、エルシャムリア・ボルドガスドム・ダレムアスの三界は、地球（ティカーセラス）とあわせて[かつてありし四世界]と呼び慣されている。各世界を統べる四柱の神は兄弟姉妹であると人間には解釈されていた。

神代末期の争いにより長姉リーシェンソルの開いたエルシャムリアは滅び、残る三界を結ぶ通廊は封印された。長い（地球時間で約2万年）時の流れのなかで互いの存在自体が忘れられた頃、主神グアヒーギルに飽きられたボルドガスドムの崩壊が始まった。が、造物主に見捨てられても、ひとたび存在することを始めた生命は死なないものである。かくてボルドガスムの皇帝ガザルアジャーは禁じられた扉を破り、隣世界ダレムアスへの侵攻を開始する。

[鬼] と呼ぶボルドム人の侵略によって緒戦で統皇そのひとを失った大地世界ダレムアスは泥沼の局地抵抗戦を余儀なくされた。地球世界に難を逃れていた皇女マーライシャが帰還し、分裂しかけていた各勢力を束ねて大規模な反撃にうつる。形勢不利とみたボルドムが地球の「地下勢力」（と考えた）セブンス・コングロマリットと手を結んだことにより、ことは三つ巴の争いとなる。

いっときボルドガスムに拉致されたマーライシャは侵略戦の直接原因がグアヒーギルにあると知り、生還の後、ダレムアスの眠れる女神マライアヌを尋ねあて、万物を造る[神]たるものへの疑問を投げかけた。

女神の娘である同名の神女マーライシャの助力を得て最後の決戦に勝利をおさめた皇女。ボルドムからの移住民をも受け入れ再び境界の通廊を封印するが、同時に彼女は半身である地球人の少年を失わなければならなかった。

[皇女を中心とした動きの概要]

(前生編)

幼くして西皇子クアロスと婚約。兄皇子マリシアルとの淡い恋に惑い、大局を誤って皇都ルア・マルラインとともに落命。

(転生編)

不死戦士アズユライ（黒百合）によって記憶を封じられ、地球世界で「幸福な少女時代」とい

うやつを取り戻す。翼 雄輝・清峰 鋭 の二名とともに帰還。はじめ地球へ戻ろうとし、月女神レリナルディを訪ねた。記憶（人格）回復の後、兄皇子の死[>宝玉物語]を知る。[>記憶の旅]

叔母である斎姫を訪ね、斎都戦にあたって指揮をふるうが、男装のため「皇子復活！」の報が各地に飛ぶ。圧政を敷くボルドム地方部隊を撃退しつつ、探索網をかいくぐり、地球人国・南都・北荒野などを巡り、大地世界全土の戦線の再統一を図る。[>（複数）]

西への砂漠の旅の途路、軍司令のボルドム帝子を殺害。その双子の兄に捕らえられ地洞世界に幽閉される。無事脱出するが、鬼族を単純な「悪」と決めつけることはできなくなる。[>暗夜]

帰還した皇女を出迎えたのは許婚者である西皇子クアロスだった。

七つの門のうち四までを封じ込め、大地軍を統率して大規模な会戦を迫る。が、地球人将軍マダロ・シャサ（雄輝）を失った皇女は自失し、敗退した。[>遼恋（りょうれん）]

雄輝、生還。再び戦線のたてなおしを図るが、地球人の介入により大地の力がそがれ、事態は深刻化した。西皇帝クアロス、皇女をかばって死去。女神に意思を問うて始源平野マドリアウィを訪ねる。神女の力を得た決戦の前夜、皇女は地球人としとねを共にした。

外伝[宝玉物語]

放浪中の薬師のおばば（実は黒百合という説も）に拾われ、山奥の「道の果ての村」で育った〈星の娘〉マシカ。皇都戦から落ちのびた飛仙フェルラダルを救ったことから大地世界の危機を知る。[>山百合と銀の楡]

飛仙にもらった宝玉〈女神ルマルウンのかけら〉を胸に、復活した〈鬼〉族の出没に脅えつつ山で暮らすマシカ。冬も近いある日、「道の果ての村」には珍しい下界からの客人が訪れた。偽名をなのり、疲れはてたふうの少年をもてなすうちに二人の間に淡い恋が芽生える。が、マシカは鬼の首領から望まれた身だった。気を揉んだ首領に期限より早く連れ去られるマシカ。譲られた宝玉を懐に、追う少年。鬼の城に忍びこみ、少女を救って落命した少年こそ、大地世界の皇子マリシアルだった。[>宝玉物語]

皇子落命の報を皇女に告げ、

外伝[地球干渉編]

[リッコ冒険記]

朝日ヶ森学園から三人の生徒が姿を消して五十年。新理事長となった楠 律子の孫、高原リッコ十二歳は、「夏休みを利用してアルバイトをしないか？」ともちかけられ、離婚訴訟中の両親か

ら離れられるとばかりに森の奥の通路へでかける。

[惑恋]

大地世界へ侵入した地球人商社軍の強制キャンプに拉致され、男達のなぐさみものにされた少年、セネ。逃亡後、皇女軍の参謀役として働くが、口にすることも出来ない過去と、皇女への報われない片恋が彼を苦しめていた。

[『大地世界物語』 ～皇女戦記編～](#)

2006年4月28日 [連載 コメント \(5\)](#)

.....おっと。また1つ抜かしてしまいました!! !(@_@)!

大地世界の、皇女戦記。

なんつったって、私の作品世界の中で2番目に古い!! というか、小学校の時に和田慎二氏の「くまさん」シリーズにインスパイアされて不意に出現して以来、かなり長い長い間にわたって、私にとって「唯一無二」のオリジナルのファンタジー作品であった、とっても重要なキャラとエピソードにも関わらず.....。

なぜここに書くのを忘れるかな? 自分.....★ (^◇^)?

????????????????????????????????

d(・_・)

かつて同時に創られた四世界のうち、第一の清浄閉球界は女神リーシェンサラルの永眠により自然消滅し、第二・第三・第四界の間の界峽門は固く閉ざされて、今風に言えば「停戦監視軍」である月女神レリナルディアムにより厳重に見張られていたはずなのだけれど。

ながい雌伏（惰眠ともいう）の間に余計な力を蓄えた暗黒洞界の連中が、突然、その封印をこじ開けて、大地世界に再び攻め入って来た!!

.....というところから始まり、イキナリ本丸である白王都城を焼き討ちされて、当時の男皇・女皇ともにあっけなく討ち死に。その遺児である第一皇子と第二皇女も必死で逃げ延びるうちに離ればなれになって.....。

.....と。

ここまでなら、最近よくあるフツ-の? 異世界ファンタジーなんだけど.....。

もちろん。私のなかの全ての歴史の流れの中に組み込まれてしまった以上、それだけで終わる話にはなりません。地球滅亡期の事象とも噛み合って、『ありえる・たうん』や『暗黒童話』とも関わりあって、三つどもえのヤヤコシイ話のバックグラウンドにも、なります……。

.....

.....ひところは、本当にファンタジーものが下火で、ジュブナイルと言えば学園モノかSF系だけで。全然まったくファンタジーって流行ってなくて、「この話でプロ作家になるのは無理だ...★」と絶望したくらいだったのに……。

なんなんだ？ 昨今の、流行る過ぎるくらいハヤリまくっている、熱烈ファンタジーブームは.....?????

(^◇^;)??

まさかまさか、指輪物語の実写版？映画を、生きて捧げる日が来るなんて、思ってもみなかったわよ～!!

今なら今なら。好きなだけドツプリまにあっくなファンタジー書いて投稿しても、商業ベースに引っ掛かる可能性、かなり大なんじゃない～い.....?????

!(@_@)!

.....と、いう時代の変化を迎えただけでも、この十数年の雌伏（惰眠）の時間は、けして無駄では無かった！

.....という.....。
ひらきなおりのおはなしでもあったりしたりして。

(^_^;)>”

コメント



はるあき

2006年5月5日0:27

このへん、アニメ化しようとしてたやつかな？

薬師の女の子とずるずる衣装のおに一ちゃん（フェルラダル？だっけ？）の話？



りす

2006年5月5日23:49

例の『宝玉物語』は、時代的には『皇女戦記』のサイドストーリー。フェルラダル氏は、皇女マーライシャのお母さん（女皇）の兄（つまり伯父さん）で、飛仙族の次期族長でもある、かなりエライ人（仙）。

d(・_・)

.....それにつけても。

あの時は、キミ（以上にミソコさん）に、大変な御迷惑を、おかけしました.....。

A^-^;)”

今考えると、如何に無謀な企みだったかよく分かるんだけどね★ 『もののけ姫』クラスのアニメ映画を、ド素人が、イキナリ創ろうとか考えてたんだから.....☆☆

(^◇^;)d”””

.....ま、若かったのよね.....。

なにもかも、みな懐かし.....くもないか.....☆

(^◇^;)げっ



はるあき

2006年5月6日13:00

キャラ設定して、色設定までしてたのになー。

ま、私の人生そんなのばっかだから、（ライダーとかね）いいけどね。

残りの人生で一作くらいはまともになんか創りたいもんだ。

まあ、やる気を捨てなければ、また機会はめぐってくるであろう。



りす

2006年5月7日23:50

「やる気」は捨ててないわよ。

「かたぎ」は捨ててるけどね。

「猫の舌」氏が「伊藤有壺」になりあがれてるくらいだからね。私がプロデビューできた暁には、約束通り挿し絵を描いて貰おう!

(^_^);d



はるあき

2006年5月8日23:46

> 約束通り挿し絵を

そいつはすごい。

ぜったいプロデビューしたまえ。(笑)

[『大地世界物語』 ～皇女戦記編～](#)

2006年4月28日 [連載 コメント \(5\)](#)

.....おっと。また1つ抜かしてしまいました!! !(@_@)!

大地世界の、皇女戦記。

なんつったって、私の作品世界の中で2番目に古い!! というか、小学校の時に和田慎二氏の「くまさん」シリーズにインスパイアされて不意に出現して以来、かなり長い長い間にわたって、私にとって「唯一無二」のオリジナルのファンタジー作品であった、とっても重要なキャラとエピソードにも関わらず.....。

なぜここに書くのを忘れるかな? 自分.....★ (^◇^)?

????????????????????????????????

d(·_·)

かつて同時に創られた四世界のうち、第一の清浄閉球界は女神リーシェンサラルの永眠により自然消滅し、第二・第三・第四界の間の界峽門は固く閉ざされて、今風に言えば「停戦監視軍」である月女神レリナルディアムにより嚴重に見張られていたはずなのだけれど。

ながい雌伏（惰眠ともいう）の間に余計な力を蓄えた暗黒洞界の連中が、突然、その封印をこじ開けて、大地世界に再び攻め入って来た!!

.....というところから始まり、イキナリ本丸である白王都城を焼き討ちされて、当時の男皇・女皇ともにあっけなく討ち死に。その遺児である第一皇子と第二皇女も必死で逃げ延びるうちに離ればなれになって.....。

.....と。

ここまでなら、最近よくあるフツーの? 異世界ファンタジーなんだけど.....。

もちろん。私のなかの全ての歴史の流れの中に組み込まれてしまった以上、それだけで終わる話にはなりません。地球滅亡期の事象とも噛み合って、『ありえる・たうん』や『暗黒童話』と

も関わりあって、三つどもえのヤヤコシイ話のバックグラウンドにも、なります.....。

.....

.....ひところは、本当にファンタジーものが下火で、ジュブナイルと言えば学園モノかSF系だけで。全然まったくファンタジーって流行ってなくて、「この話でプロ作家になるのは無理だ...
...★」と絶望したくらいだったのに.....。

なんなんだ？ 昨今の、流行る過ぎるぐらいハヤリまくっている、熱烈ファンタジーブームは.....?????

(^◇^;)??

まさかまさか、指輪物語の実写版？映画を、生きて拝める日が来るなんて、思ってもみなかったわよ~!!

今なら今なら。好きなだけドツプリまにあっくなファンタジー書いて投稿しても、商業ベースに引っ掛かる可能性、かなり大なんじゃない~い.....?????

!(@_@)!

.....と、いう時代の変化を迎えただけでも、
この十数年の雌伏（惰眠）の時間は、けして無駄では無かった！

.....という.....。
ひらきなおりのおはなしでもあったりしたりして。

(^_^;)>”



りす

2006年5月5日23:49

例の『宝玉物語』は、時代的には『皇女戦記』のサイドストーリー。フェルラダル氏は、皇女マーライシャのお母さん（女皇）の兄（つまり伯父さん）で、飛仙族の次期族長でもある、かなりエライ人（仙）。

d(・_・)

(作業⇒宙) ~☆☆☆

(作業⇒宙) ~☆☆☆

2016年7月27日 [リステラス星圏史略 \(創作\) コメント \(3\)](#)

...ん〜と...ちょっと「皇女戦記編」の、「項番」整理...

(時系列か? 主要人物別か?)

(ちょっとまず主要人物、現時点で何人いるのよ??)

1. マーライシャ (主役。「皇位継承権者」候補筆頭)
2. 雄輝 (準主役??) (のちに「女皇の夫」。)
3. 鋭 (雄輝より目立ってる? 気もするが...) (皇女の親友)

4. マリシアル (主役の兄)
5. フェルラダル (主役の母方の伯父)
6. マシカ (このひとの「立場」ってなんだ?) (皇女の友人?)

7. 叔母上 (名前なんだっけ...) 現: 「大地皇代理」
8. クアロス («西方皇位継承権者」。マーシャの「許婚者」)
9. ネイマス (クアロスの弟。...ライバル...?)

10. マデイラ («皇子」の予定だったけど...「西方皇女」にしちゃえw)
11. (ボルドム皇女) (名前なんだっけ...)
12. (ボルドム革命軍少女兵) (名前なんだっけ...)

13. 黒百合。 (主要?に入るのか...??)
14. 地球軍のあのヤな奴。 (名前不明)
15. (清瀬?) 律子。

◆時系列?

- 4-0. 戦前 (伏線) エピソード群。
(マーシャの「婚約」含む)

- 4-1. 襲撃（皇都イキナリ陥落★）。
（「山百合と銀の楡」含む）
- 4-2. （皇女不在時代）叔母上の代理統治。マリシアル放浪中。
（「宝玉物語」含む）
- 4-3. マーシャ「地球からの帰還」編。
（叔母上と再会するまで。）
- 4-4. マーシャ「大地探索」編。
（マリシアル&フェルラダルと再会）
（クアロスとの絡み編、含む？）
- 4-5. 「大地白皇軍」反撃開始編。
- 4-6. マーシャ誘拐され編（暗洞界編）
- 4-7. （戻ってみたら泥球が大地を収奪してるよ編）
- 4-8. 「清瀬律子」編？
- 4-9. 戦乱収束編。（大地皇女の婚姻）
- 4-10. （その後）「大地終焉」編。

...うん。とりあえず「ファイル整理」は、これで...☆

マリサが地球に来た日？ (2013年11月11日1:57)

<http://p.booklog.jp/admin/write/new/108661>

北海道 共和町 0.053 μ 。

2013年11月10日 [ヒロシマ+ナガサキ<フクシマ=【地球】!!コメント\(2\)](#)

やっと収まったかと油断してたら、泊原発の便乗スカシッ屁が来やがったッ！

(*`θ`*)

コメント



[霧木里守≡畑楽希有 \(はたらけきあり\)](#)

2013年11月11日1:55

北海道 倶知安 0.066 μ 、

茨城県北茨木市 0.122 μ 。

泊原発のスカシッ屁と、
フクイチ溶融地下熱水脈。



[霧木里守≡畑楽希有 \(はたらけきあり\)](#)

2013年11月11日1:57

今日の気象条件。

そして11月11日。

あれ？マリサが地球に来た日？

(2018年5月13日) フェルラダルの軍が西へ行く前に南下してたのは渡河のため。

<http://85358.diarynote.jp/201605131252354436/>

マイ別荘なうw

2016年5月13日 [環境は、生命圏で、生存権。コメント\(2\)](#)

標高50mの高原？リゾート♪

公園ですが、
平日貸切状態で、
私物化♪ o(^-^o



コメント



[霧木里守≡畑楽希有（はたら句きあり）](#)

2016年5月13日13:23

ルアマルラインは平原の丘陵地かと思ってたけど実はあんがい高原。

北青大湖から南碧塩湖まで流れ下る大峡谷があることが判明。

フェルラダルの軍が西へ行く前に南下してたのは渡河のため。
旧都は下流の水運都市にある。

...あ～(^。^;)☆

一気にダレムアスの地勢が5D（3D+経年変化+人文歴史）で視えてきた...☆

(一+)ニヤリ



霧木里守≡畑楽希有（はたら句きあり）

2016年5月13日22:04

トラブルりましたが何とか生還。

(^。^;)

画竜点睛は欠きまくり、もはや稚内に到達したそうな桜前線も水芭蕉もツツジ花見すらも逃しましたが(ToT)

まあ小鳥の美声は聴きまくり、新緑の風鳴りも聴きほうだい。

だったので、まあ良しとしましょう...ㄣ (´~`;) ㄣ

(借景資料集)

雄輝？ (2014年7月8日)

<http://85358.diarynote.jp/201407080932297576/>

[雄輝？](#)

2014年7月8日 [リステラス星圀史略 \(創作\)](#)



一字違いw

<http://76519.diarynote.jp/200707150041350000/>

ルア・マルライン。 (2014年7月8日)

<http://85358.diarynote.jp/201407081451004527/>

ルア・マルライン。

2014年7月8日 [リステラス星圏史略](#) (創作)

雲類鷲...もとい...

《麗しの白の皇の都》



(それにつけてもIMEの変換のバカなこと... (ーー#))

朝日ヶ森学園、ロケ地に決定。 (2014年10月24日)

<http://85358.diarynote.jp/201410241132537354/>

霧樹りす帰郷中。

2014年10月24日

なんで泥地界のトラックが走ってるかは謎ですが、
鍵盤あったらここから誰無明日に還れます。



=====

<http://85358.diarynote.jp/201410241217075558/>

朝日ヶ森学園、ロケ地に決定。

2014年10月24日

勝手に借景w



=====

<http://85358.diarynote.jp/201410241234282700/>

てらぎにあ。

2014年10月24日



=====

<http://85358.diarynote.jp/201410241329139258/>

ガラドリエル様。

2014年10月24日 リステラス星圏史略 (創作)



リステラス星圏史略
古資料ファイル
4
『皇女戦記』
(梗概)

<http://p.booklog.jp/book/108661>

著者：霧樹里守 is 土岐真扉

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/masatotoki/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/108661>

電子書籍プラットフォーム：パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社トゥ・ディファクト